

2023年（令和5年） 三重県のスギ花粉飛散予想

花粉の飛散量は「大飛散」の見込み 2000年代で最大級の飛散に警戒を

スギ花粉は夏に生育しますので、花粉量も前年夏の気象に左右されます。一般には、気温が高く、日射量が多く、降水量が少ないと、生育の条件が良いとされます。2022年7月の津市の気象は、平均気温 27.6(平年値 26.8)℃ 日照時間 199(平年値 180) 時間、降水量 151(平年値 174)mm と好条件でした。これらの数値は 2011 年に大飛散(約 16,000 個)した年の前年夏気象に極めて類似します。

前年晩秋にも少量のスギ花粉が飛散します。秋の花粉数が多いと翌年の飛散も多くなります。2022 秋のスギ花粉は例年より多く、しかも早秋から飛散しました。この状況も 2010 年秋以来でした。

スギ花粉飛散予想に最も重要な情報は、スギ花粉を含む雄花の着生です。雄花が多く着生すると花粉も多く飛ばせます。雄花は夏に生育しますが、晩秋になると直接観察でき、翌年の花粉飛散数を予想できます。毎年同じ時期に雄花を観察すると翌年の花粉飛散数ときれいな相関がありますので、三重県林業研究所の協力で毎年 11 月に調査して点数化しています(右図)。本年度の雄花着生は、過去最大の着生がありました。

以上の観察を総合して考えると、全ての条件で花粉飛散が多くなる予想です。津市での**スギ花粉飛散は過去最大飛散に迫る大飛散**と予想され、県下全域での大飛散が予想されます。**平年の3～4倍、昨年の約5倍**の飛散になるでしょう。

ヒノキ花粉飛散は近年増加傾向です。スギ花粉と同様の飛散傾向になりやすいので、2022 年の**ヒノキ花粉飛散も同様にかなり多くなる**となる見込みです。

スギ花粉症患者さんにとって、2023 年春には最大限の警戒が必要です。

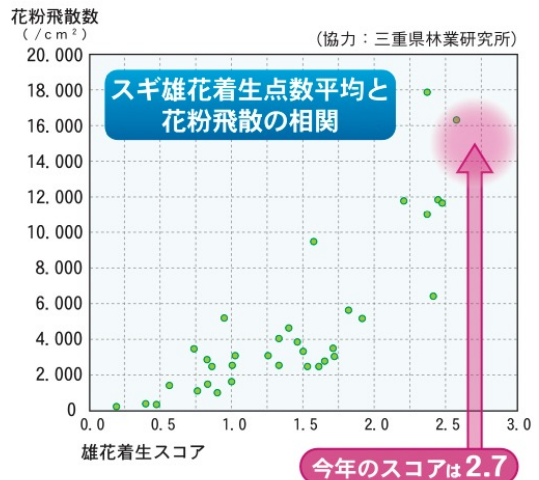
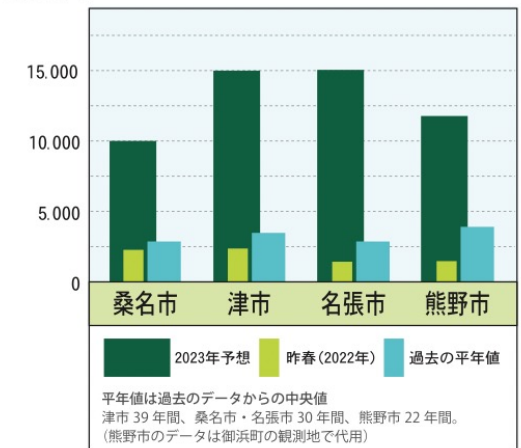
スギ花粉飛散開始時期はやや早めの見込み

スギ花粉の飛散開始時期は年により違い、早いと2月初め、遅いと2月後半からです。花粉が大飛散する年は飛散期間が長くなるため早期から飛散が始まります。スギ花粉飛散開始は2月上旬、ピーク時期は2月20日頃から3月10日頃の長い期間になる見込みです。

ヒノキ花粉飛散が年々早まっています。ヒノキ花粉は、スギ花粉の飛散終了を迎えることなく3月20日頃から始まり、4月上旬に飛散ピークとなる見込みです。

2023 年には約2カ月の長い間で花粉の多い年になるでしょう。

2023年スギ花粉飛散予想



2023年のスギ花粉症対策 **大飛散です。例年以上の対策を!**

- 2023年の**スギ花粉飛散は大飛散**の予想です。**飛散開始は2月初旬**となる見込みです。
ヒノキ花粉も多く、長期間に多い花粉飛散となります。
- 花粉の多い年に治療開始が遅れると、薬の効果も出にくくなります。また、花粉飛散とともに医療機関が大混雑します。いつもより**早めの対策と医療機関受診**を心がけてください。
- スギ花粉飛散開始予想日の直前から薬を服用する**初期療法**と呼ばれる治療が効果的です。最近副作用の少ない効果的な治療薬も増えています。また、花粉期に注射で治療する方法も開始されました。2023年の花粉症状に困られたら、次年に向けて夏以降から効果の高い舌下免疫療法を開始するのもお勧めです。
- 2023年は大飛散で、花粉飛散の多い日には、1日で少ない年の1年分が飛散する見込みです。花粉数が非常に多いと、どのような良い治療でも効果が出ません。**毎日の花粉情報**を確認して花粉飛散の多い日の対応をしてください。マスク着用、眼鏡の装着などの**予防が効果的**です。特に、花粉飛散期での洗濯物の室内干しが効果的です。